

目的	目的の掘り下げ	具体的な方向性 (新築等京町家のコンセプト)	基準の考え方 *は再掲している項目	
			必要と考えられる事項 (全て必須)	望ましい事項
① 生活文化の継承と発展  ・自然との関係  ・住み手との関係	暮らしの中で四季や自然を楽しむ	<b>【1】 四季や自然を楽しむ</b> ・まちなかでも、緑や自然の光と陰影を楽しめる住まい ・京都の四季折々の祭事など、季節を楽しむ暮らしができる住まい ・健康にも自然にもやさしい住まい	・ <u>家の中においても自然の移ろいを感じられる空間を設ける (庭の設置等)</u> ・ <u>しつらい空間を設ける (祭事や季節に応じた飾りや花を飾れる等)</u> ・ <u>建物側の工夫で自然エネルギーをコントロールする (通風経路の確保, 採光の工夫, 軒庇による日射遮蔽, 断熱性能確保等)</u>	-自然素材を取り入れる (木, 土, 石, 紙等) -地域産木材の使用
	物を大事に使いながら住まう	<b>【2】 大切に使う</b> ・将来的な家族構成やライフプランの変化に対応できる住まい ・既存部材や建具の再利用に配慮された住まい	・ <u>フレキシブルな空間とする (間仕切りを自由に変えられる, ひとつの空間を多用途に使える等)</u> ・ <u>メンテナンスのしやすさ</u>	-バリアフリー, ユニバーサルデザインとする -既存部材や古建具の活用 -自然素材を取り入れる*
	<u>地域とつながりを持つ (コミュニティ)</u>  <u>都心に集まって暮らす (都市空間のつくりかた)</u>	<b>【3】 まちに暮らす</b> ・地域社会とゆるやかにつながり, 地域の一員として安心して暮らせる住まい  ・お隣や裏のお宅と協調した, 互いに心地よく暮らせる住まい	・ <u>セミパブリックな空間を設ける (まちとほどよくつながる空間, 温熱環境上のバッファゾーン)</u> ・ <u>プライバシーに配慮した開口部の位置</u> ・ <u>近隣の日照・通風に配慮した建物配置 (まちなかの場合, 中庭や奥庭を設ける等)</u>	
② 趣のある町並みの形成  ・まちとの関係	<u>各地区毎の方針による</u>  <u>&lt;例&gt;旧市街地型美観地区</u> <u>京町家等の歴史的建造物との調和</u>	<b>【4】 京都になじむ</b> ・町並みの連続性を保ち, 町並みのもつスケール感になじむ形態 ・京町家の洗練された意匠を継承したデザイン, 地域特性を踏まえたデザイン ・必ずしも伝統的意匠にこだわらず, デザイン上の創意工夫を盛り込む。	・ <u>景観デザイン基準</u>  ・ <u>外壁又は塀を通りに近接させる (歴史的に京町家が立地していた地域に限る (美観地区, 美観形成地区等))</u> ・ <u>京町家らしい外観意匠 (平入り, 通り庇) (歴史的に京町家が立地していた地域に限る (美観地区, 美観形成地区等))</u>	-京町家の伝統的な外観意匠 (歴史的に京町家が立地していた地域に限る (美観地区, 美観形成地区等))
③ 伝統技術・技能の継承と発展	伝統技術・技能の仕事の場が増えることで, 職人が育ち, 伝統構法が新築の選択肢の一つになるとともに, 既存京町家の保全継承につながる。	<b>【5】 技を感じる</b> ・木組み, 左官, 畳等の伝統技術・技能を生かした, 職人技の魅力を感じる住まい。	・ <u>畳スペースを設ける</u>	- <u>和室を設ける</u> - <u>木組み, 左官等の伝統技術・技能を生かした構法や材等の採用</u> -既存部材や古建具の活用* -自然素材を取り入れる*

**【基準検討のうえで取り入れるべき視点】**  
 (現代の生活ニーズ)  
 ・椅子中心の生活 ・バリアフリー ・エアコン ・駐車場 (その他)  
 ・一般的な価格で建築できること ・省エネ基準への適合

**【改修の場合】**  
 ・空間構成等に関する事項は必須としない。

**【共同住宅の場合】**  
 ・しつらい空間, 畳スペース, フレキシブルな空間は各住戸毎に求める。その他は共用部分に取り入れることでも可とする。  
 ・追加で, 町家型共同住宅の設計指針を望ましい事項として求める。